



北区で初めての 自民党女性議員です

プロフィール

- 神戸市立山田小学校卒業
- 親和女子高等学校卒業
- 流通科学大学商学部サービス産業学科卒業
- 関西福祉科学大学大学院
社会福祉学研究科臨床福祉学専攻修了
- 前北区連合婦人会会長
- 社会福祉法人ゆうわ福祉会理事長
- 法務省保護司
- 北区空手道協会会長



北区を起業家集積地に！

「谷上プロジェクト」を
誘致しました！

う え な か か 雅子

まなこ

きた！来た！

GENKI-NET

地域の声を力に！

高齢者や障がい者が 生き生きと暮らせる社会を！

- 地域見守り活動と福祉のさらなる充実
- 認知症「神戸モデル」診断助成制度の開始（平成31年1月28日～）、事故救済制度開始（平成31年4月1日～）
- シルバー人材センターの年齢制限を引き上げ、適材適所の柔軟な対応を！
- ICTを活用した在宅就業や短時間雇用等、多様な働き方の創出
- 在宅介護への支援を！



道路・交通問題の改善に努めます

- 北神急行の市営化による利便性の向上
- 皆森交差点の渋滞緩和策として谷上への2車線化
- 国道428号（箕谷北）の道路拡幅かトンネル
- 神鉄大池駅の踏切に歩道を整備



婚活・子育て支援の充実

- 里コンやふねコン等の婚活を支援
- 産前・産後のケアの充実
- 在宅保育の支援
- 学齢前児童の遊びの地域拠点「こべっこあそびひろば」
北区（神戸電鉄岡場駅前）2019年夏頃開設予定



子どもたちが伸びやかに育つ総合的施策を！

- いじめ、虐待の早期発見と早期対応
- 0歳～2歳児の在宅保育を支援し、親子の愛着形成の確立を！
- 家庭・学校に心を育む教育を導入推進



女性が活躍できる環境づくりを！

- 待機児童対策・新たな保育定員確保策
 - ①パーク&ライド型保育園の整備
 - ②保育送迎ステーションの設置
 - ③サテライト型小規模保育所事業 で1,200名
- 再就職や転職支援、在宅ワークの推進
- 産前・産後からの切れ目のない子育て支援
- ワーク・ライフバランスの推進
- 企業や家庭における男性の女性に対する意識啓発施策の充実



リカレント教育を推進！

子育てが一段落した後や、定年退職後も再び学びを深め、専門知識を得て就労や社会貢献に携わる方を応援します。（私自身も子育て後、48歳で大学を卒業し、52歳で大学院を修了、社会福祉法人でボランティアを始めました。）

ごあいさつ

皆様方のご支援により、北区で初めての自民党女性議員として神戸市会にお送りいただき、早や4年が経とうとしています。

その間、文教こども委員会副委員長、経済港湾委員会副委員長、神戸市農業委員を拝命し、地域にあっては、北区連合婦人会前会長、保護司、社会福祉法人理事長として、女性ならではの視点で、皆様の暮らしに寄り添った施策と、その実現に努めて参りました。

「有言実行」が信条です。

今後とも、「住み良い北区」「住みたい北区」「ふるさと北区」を目指して、道路・交通問題の改善、女性・高齢者・障がい者の就労支援と環境整備、婚活・子育て支援、在宅保育や在宅介護への支援、防災対策の強化と防災ジュニアの育成、企業誘致や移住促進活動等の推進に努めて参ります。



「住み良い北区」「住みたい北区」「ふるさと北区」を目指して!

すべての世代の暮らしに寄り添って

- 子ども・子育て世代に 大胆に投資、教育の無償化
- 小学校の過密化対策を1日も早く実現
- 十分なスポーツ体育活動ができる 体育館・運動場・球場の確保
- 子どもの格差社会を解消し、教育の充実

魅力ある農業・活力ある農業を!

- 地域農業の担い手育成支援
- 新規就農・移住・定住促進支援
平成31年度から「神戸版地域おこし協力隊」開始
- 集落営農組織への支援



防災対策の強化

- 災害に強い街づくり
- 災害時の迅速な避難行動につなげるためにも、アイデア満載の防災ガイド作成を!
- 防災ジュニアの育成を支援



北神地区に「東神戸線」の整備を!

昨年の豪雨や台風では、北神地区の主要道路が雨量規制や土砂崩れのために通行止となり、「陸の孤島」となる状況が発生した。北神地区の住民の安心安全を守るためにも、改めて抜本的な対策を!



ユニバーサルデザイン UDタクシーの導入を!

障がいの有無や年齢等にかかわらず、地域住民はもとより、観光客も含めた誰もが気軽に利用できる「UDタクシー」の普及促進を!



主な役職

平成13年5月～現在	北区更生保護女性会 会員
平成17年7月～18年6月	北神戸グリーンライオンズクラブ 会長(第28期)
平成19年9月～現在	社会福祉法人ゆうわ福祉会 理事長
平成20年5月～現在	心月会(北区協力雇用主会) 副会長
平成24年4月～25年7月	北区連合婦人会 会長
//	神戸市婦人団体協議会 理事
平成26年9月～現在	NPO 煌めぐみ 理事
平成26年10月～現在	保護司

平成27年6月～現在	神戸市会議員
//	北区空手道協会 会長
平成28年6月～29年5月	文教こども委員会 副委員長
//	大都市行財政制度に関する特別委員会 理事
平成28年6月～30年9月	神戸市農業委員
平成29年6月～30年5月	経済港湾委員会 副委員長
平成29年6月～現在	大都市行財政制度に関する特別委員会 委員
平成30年6月～現在	都市防災委員会 委員



うえなか雅子事務所

<http://uenakamasako.jp>

〒651-1244 神戸市北区谷上南町13-2

Tel:078-583-8060

Fax:078-583-4696

より良い神戸・垂水へ目標にダッシュ！

しらくに高太郎 新聞

市政活動レポート No.11-7 神戸市会議員

日頃からのご支援とご指導に改めて感謝申し上げます。
時代に応え、また様々な皆様の「思い」を身近な市政にいかし、課題解決に向け今後も全力を傾注いたします。
そして、自由民主党神戸市会議員として、責任ある市政を目指します。



平成31年予算特別委員会 質疑要旨 (一部)

▼ 水素スマートシティ神戸構想 (CO2を削減し、水素を活かすまちづくり)

世界初の取り組みとして、ポートアイランドにある旧港島クリーンセンターで、水素100%燃料の発電所が整備され、熱と電気を市民病院などの公共施設に供給しています。また、神戸空港島に、オーストラリアからの液化水素を荷揚げする施設を整備中です。



水素社会の扉を開く大きな役目が神戸市にはあると思う。
その役割を果たすためにも、水素バスの導入を引き続き検討すべきだ。

地域や市民のみなさんの理解のもと、関係事業者と情報共有し、バスの導入に不可欠な水素ステーションを確実に整備し、その誘致に取り組んでいきたい。



環境局長

静かで快適な走り!



試乗会でも好評!水素燃料電池バス

平成31年予算特別委員会(平成31年2月20日)

▼ 介護人材の確保

福祉人材確保施策懇話会が設置され、介護労働実態調査の結果が明らかになりました。



介護関係の仕事の離職理由に「職場の人間関係」が、最も多かったことに注目している。
事業者側の努力も必要だと思うが、行政としてどのような間接的な支援が出来るのか。

新規採用職員の住宅手当の一部補助・利用者からの暴力に対する安全対策に関するガイドラインの作成・市民福祉大学での研修などの支援を来年度より取り組む予定です。



保険福祉局
総務部長



平成31年予算特別委員会(平成31年2月27日)

しらくに高太郎プロフィール

昭和48年3月、神戸市生まれ。県立北須磨高等学校・神戸学院大学法学部卒業 / 平成19年4月 神戸市会議員として初当選 / 平成27年4月神戸市会議員として2期目当選 / 福祉環境委員長、企業建設委員長、文教こども委員会副委員長、阪神水道企業団議会議員、特別養護老人ホーム副施設長、介護員養成研修事業所、訪問介護事業所事務局長を歴任、現在、社会福祉法人理事、NPO理事、神戸市垂水消防団塩屋分団所属、塩屋まちづくり推進会監事、県立北須磨高等学校同窓会理事、自由民主党兵庫県神戸市垂水区第二支部長。

平成31年度予算を承認いたしました。(総額1兆7,999億円)

垂水区に割り当てられた予算

について一部ご報告いたします。

▼ 垂水駅周辺の空間リノベーション

2億2,604万円

垂水駅前には次年度の神戸市駅前リニューアル検討対象の1つになっています。

- ・旧垂水養護学校跡地での医療機関の整備等6,260万円
- ・垂水小学校の建替検討 4,184万円
- ・廉売市場付近の再開発事業 1億2,160万円

▼ 小東山6丁目交差点渋滞解消

2,000万円

垂水の交通環境に関するご要望は変わらずいただき続けています。小東山6丁目交差点付近の南進右折レーンや、ブランチ神戸学園都市前交差点の北進右折レーンを延伸する予定です。また塩屋多井畑線についても用地測量をする予定です。

▼ 暮らしの質を高め、福祉の充実を継続

9,062万円

時代とともに、街のニーズは移り変わります。住民の願いに合わせて、柔軟に応える事ができるサービスの実現を願っています。

- ・塩屋しおかぜの車両更新補助 6,399万円
- ・ブランチ神戸学園都市内に予約図書受取コーナーの設置 763万円
- ・西部療育センター作業療法室の増設・強化 1,400万円
- ・垂水駅前地区での障害者超短期雇用の促進 500万円

より良い垂水の実現に今後も尽くして参ります

▼ <チェックオフ廃止条例を可決>

平成31年2月18日市会本会議にて、神戸市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例「チェックオフ廃止条例」が可決されました。これにより、来年4月1日から市職員の賃金から組合費を天引きし、一括して労働組合に渡す制度が廃止され、これまでの労使関係に厳しいメスが入られます。不適切な給与支給をチェック出来なかった私達、議会にも責任があります。反省の上になんて、今後の活動を律して参ります。

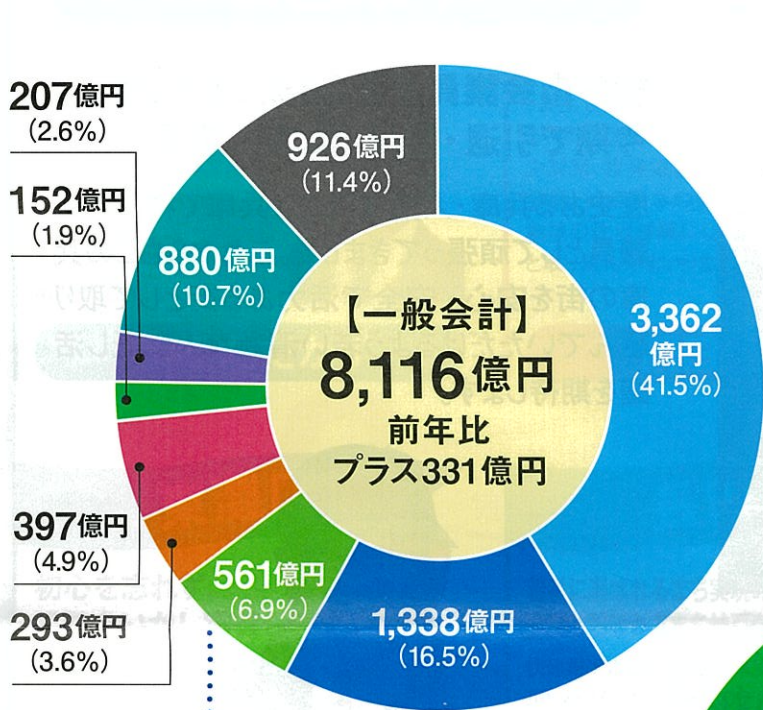


適正な予算執行を前提に 31年度予算を承認しました

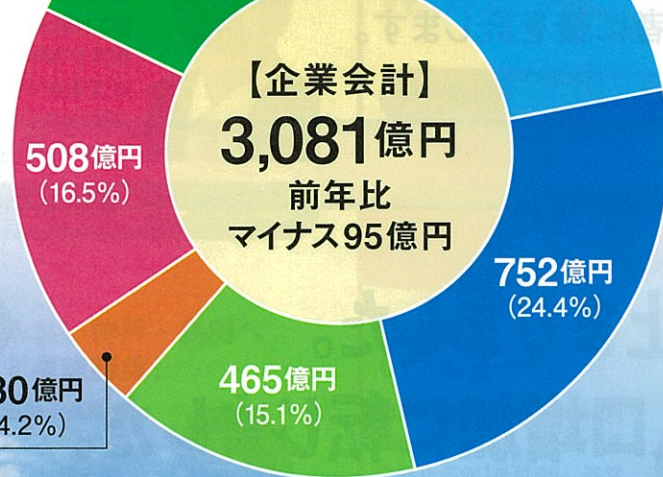
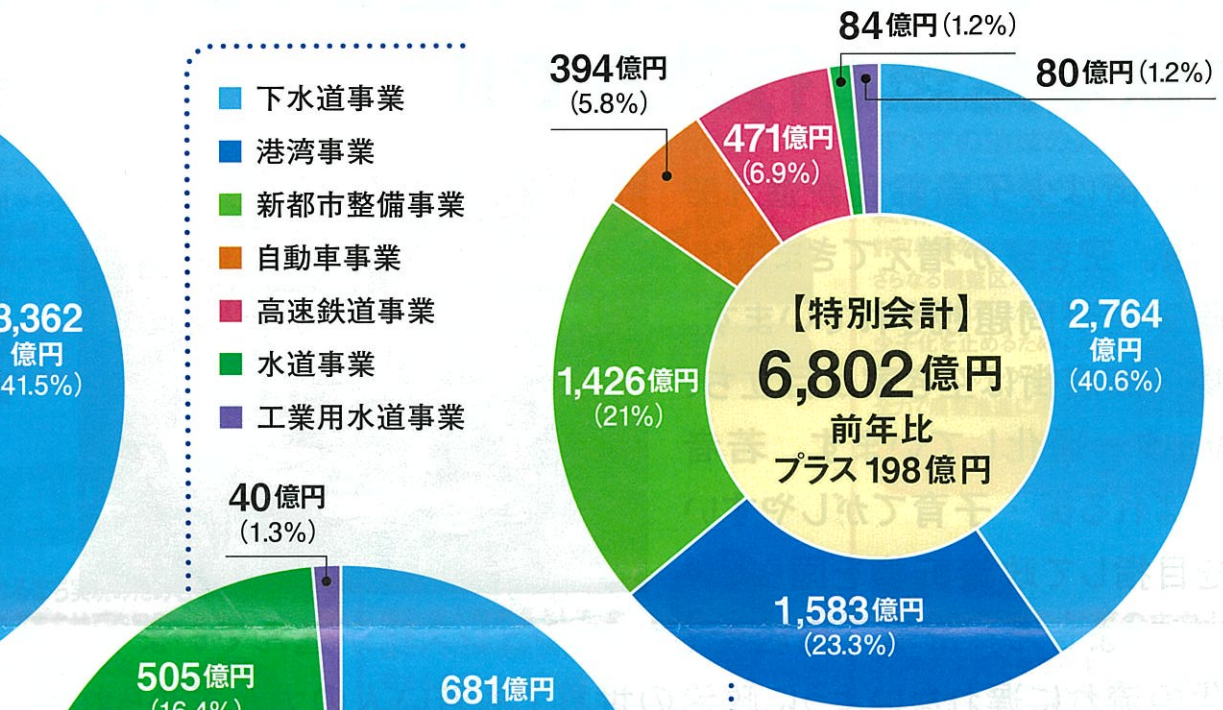
平成31年度予算においても健全な財政運営を求め、プライマリーバランスの黒字(212億円)を確保しました。市民一人当たり市債残高は約71万円で、政令指定都市20市の平均76万円を下回り、12位となっています。私たちは、引き続き行財政改革を進めるよう求めてまいります。

予算総額 1兆7,999億円

前年比
プラス433億円



- 子ども・お年寄りなどの福祉に
- 教育・文化に
- 環境・衛生
- 住宅・まちづくりに
- 道路・公園に
- 産業の振興に
- 消防・救急に
- 区役所などの運営
- 市債の返済に



- 公債費
- 国民健康保険事業費
- 介護保険事業費
- 後期高齢者医療事業費
- 市営住宅事業費
- 市街地再開発事業費
- その他
 - 市場事業費 39億円
 - 農業集落排水事業費 16億円
 - 食肉センター事業費 10億円
 - 駐車場事業費 10億円
 - 農業共済事業費 3億円
 - 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費 2億円



私たちは全市的な課題に向き合いながら各区の発展にも全力で取り組んでいます!



自由民主党神戸市会議員団 TEL.078-322-5846

Liberal Democratic Party of KOBE 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号 HPアドレス <http://www.jimin-kobe.com/>



私たちは全市的な課題に向き合いながら各区の発展にも全力で取り組んでいます!



**自由民主党
神戸市議員団
の紹介**

中央区

海と山に恵まれた中央区!
地元育ちだから住み易い中央区を!

生田中・神戸高・早稲田大卒。総合商社で海外4カ国に駐在。インテリア販売業を経て神戸市議2期目。国際都市神戸・商業エリアと居住地がコンパクトにまとまった中央区の魅力を引き出します。



河南 ただかず
かわなみ

東灘区

初心を忘れず、
経験をいかし実行します。

子育て、教育、防災と40年間訴え続け、かなりの進展はあったものの、これからは訴え続け、誇りを持てる神戸市を目指します。



安井 としひこ

つないでふやす市民満足!
県と市の架け橋になります!

平成25年の初当選から2期6年、企業建設委員会委員長、総務財政委員会副委員長などに就任、昨年は自民党神戸市議員団の政調会長を務めました。この経験を活かし、東灘区の市民満足をふやします。



長瀬 たけし

甲南学園 創立者の言葉「常二備へヨ」
をモットーに頑張ります!

最年少議員として、命と財産を守る防災・未来を担う子供への投資を最優先に行動します!そして、市職員労働組合の腐敗を浄化し、生活保護の医療費自己負担を導入、不正受給の撲滅を実現します。



うへはた のりひろ

垂水区

より良い神戸・垂水へ
目標にダッシュ!

震災後24年が経過し、徐々に新しい神戸を創造する時代になっています。まだまだ若い私としては、もっともっと仕事をさせていただかなくてはなりません。今後も皆様の思いを受けとめて、責任ある市政を目指して参ります。



しらくに 高太郎

「神戸で長生きして良かった」と
実感していただけるまちづくりを

「長生きはリスク」ではなく「長生きして良かった」となる神戸を目指して、人口減少対策、教育拡充、漁業の発展、社会資本の整備等、地域の政治課題にしっかりと取り組んでまいります。



岡田 ゆうじ

長田区

若者に選ばれるまち実現のため若者に魅力的な
企業に選ばれるまち神戸を目指します

快速電車JR新長田駅停車実現にめどをつけ、長田区の空き地空き家問題の解決に取り組みます。他都市に先駆けて認知症に優しいまち神戸を実現するための条例や待機児童ゼロ実現に向けての取り組みが着実に実施に移されます。



北山 順一

元気で住み良い神戸・長田へ
初心忘れず直球勝負!

市内でもっとも少子高齢化の進む長田区ですが、交流人口を増やす取り組みや、駅周辺の環境整備、空き家空き地対策等の政策を提言してきました。働く女性として、母としての目線を活かしていきます!



平井 真千子

文教子ども委員会の
副委員長をしています!

私はPTA会長や地域の役職をしていた経験から、子供たちの環境が大きく変わってきたと危惧しています。親が、地域が、しっかりと子供を見守り、育み、育てていける環境の整備を訴えてまいります。



かわべ 宣宏

北区

政策実現力で
神戸の未来創造に貢献

神戸は震災復興に一区切りをつけ未来を創造する段階に入りました。これまでの経験と人脈を活かし「新しい神戸」実現に貢献して参ります。



坊 やすなが

広域からコミュニティ交通まで、
交通施策に全力投球!

神戸の人口減少対策、産業活性化の鍵は交通アクセスです。公共交通網の利便性確保から道路渋滞対策に取り組めます。また、ゴルフツーリズムなどの観光施策から障害者の親なきあと対策まで広く取り組みます。



五島 だいすけ
ごとう

北区で初めての
自民党女性議員です。

北区連合婦人会前会長、保護司、前農業委員、社会福祉法人理事長として、女性ならではの視点で、地域の皆さんの暮らしに寄り添った施策とその実現に努めています。「有言実行」が信条。



植中 雅子

須磨区

正々堂々
いつも真っすぐ!!

自由民主党神戸市議員団一丸となって、「チェックオフ廃止条例」を可決し、異常な労使癒着を断ち切りました。私が中心になって復活作戦を展開中の「須磨浦普賢象桜」の植樹式を2月2日に行いました。



安達 和彦

ありがとうございます!新しい時代へ
抜群の実行力で働きます!

【実現します】多井畑東町にバス路線。離宮公園で蜂蜜を取穫。横尾・健康地蔵への階段に手すり。高倉台にコインパーキング。ゴミステーションの立ち番は行政で!地下鉄妙法寺駅リファール側スロープを改修し混雑を解消。



むらの 誠一

灘区

経済の活性化・教育福祉の充実
持続可能な都市を目指して

教育福祉を充実させるためには、人口減少時代において、無駄の削減とともに安定的な税収が欠かせません。既存産業の活性化に加え新たな産業の創出、観光振興による交流人口の増加を目指します。



吉田 健吾

西区

すべての地域、
すべての地域の人のために尽くす。

市街化調整区域内の規制緩和、神戸市長への農用地転用許可権限の委譲等踏まえて、さらなる調整区域内の活性化、若者の定住化の促進と少子化を止めるために全力である。初心から変わらず全力で農業推進に尽力する。



坊池 正

目指すのは
「安心で元気な神戸のまち」

25年の車椅子生活を生かして、障がいや病気を抱える人たちの支援を、全ての市民の安心につなげていきます。また女性として、子育て支援や教育環境の向上等にも、引き続き取り組んでいきます。



山口 由美

笑顔溢れ光り輝く
神戸の未来を切り拓く!

西神中央駅前の基盤整備を進め、神戸ワイナリーの観光拠点としての検討や近隣市との連携を図ることで西部地域における拠点都市を目指し、笑顔溢れ光り輝く神戸の未来を切り拓いて参ります。



佐藤 公彦

西区育ち!いつまでも
住みたいまちを目指します。

子育て、教育、環境、福祉など、日本最強のニュータウンを守るために頑張っております。また農業の6次産業化や、改正都市公園法を利用した活性化策を提案し、潤いのある「ふるさと西区」を目指してまいります。



山下 てんせい

兵庫区 について

兵庫区の施策を
お伝えします。



これからの社会は大きく変わります。 柔軟な発想と行動力で!!

兵庫の街は少子高齢化が進んでいます。空き家が増えてきました。危険家屋が問題視されています。市場・商店街は空き家が目立ち、シャッター通化しています。若者に選ばれる街・子育てがしやすい街を目指して政策転換を図らなければなりません。市場・商店街もキャッシュレス化が進んでいます。時代の流れに遅れないように政治の世界でも若い人の力が求められています。兵庫の街の改革は後継者に後を託します。



平野 昌司

神戸市会議員として9期34年間
今期で引退・後継者に託します

歴史ある兵庫・人情味豊かな兵庫で神戸市会議員として頑張ってきました。これからもこの兵庫の街を安心・安全で活力ある街として取り組んでいただけるよう若い清新な人に託し活躍を期待します。



兵庫区の人口減少が止まりました。 ようやく月によっては人口増加に転じました。

兵庫区は多様な出身地の方が活力を持って学び働ける社会を実現しようとしています。今兵庫区では中部下水処理場跡にスポーツ施設がオープンし2021年には北側に「こべっこランド」が移転してまいります。中央卸売市場西側に初代兵庫県庁記念館が整備されることとなりました。多くの事業が兵庫区内で進みつつあります。本年はラグビーワールドカップ大会がノエビアスタジアム神戸で4試合開催され兵庫区が世界から注目される事となります。神戸祇園小学校建設後の小学校跡地を住民の皆様の意見をくみ取り地域に愛されるよう利活用されなくてはなりません。更に兵庫区役所新庁舎が8月13日から供用開始されます。これを地域活性化の起爆剤として湊川・東山商店街市場の活性化を進めていかなくてはなりません。

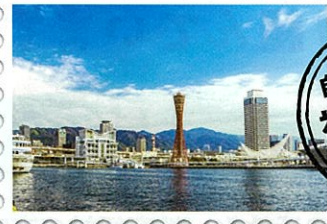


守屋 隆司

神戸市発祥の地である兵庫の復権目指します
私、守屋隆司は現場主義で区内歩いて廻ります

兵庫区内で空家・空地が増え続けています。国の空家特措法を受けて空家・空地条例が制定されました。危険空家の解消を進め更には使える空家を他の方に貸すか売却かを促し空地も含めてご近所さんにご迷惑掛けないよう適切な管理を促していかなくてはなりません。





自由民主党
神戸市会
議員団

活動だより

神戸の未来を拓くために、
全力で活動してきました。

神戸経済を伸ばす様々な施策の展開

昨年、神戸医療産業都市推進機構理事長の本庶佑先生がノーベル生理学・医学賞を受賞されたことを契機に、より一層の医療産業都市の推進を図るとともに、シリコンバレー拠点の設置により、海外企業の誘致や起業家支援が更に力強く後押しされます。また、イン



バウンド対策、商店街・市場の活性化など、様々な施策が展開されていきます。また、観光産業については六甲山・摩耶山の活性化、須磨海浜水族園の再整備、クルーズ船誘致の強化など、具体策も取り組みにより国内外からの観光客の増加が期待されます。

健康・安全を守る～高齢者や障害者への支援～

「神戸市認知症の人にやさしいまちづくり条例」の制定により、全国初の認知症対策「神戸モデル」が推進されています。本年1月からは「診断助成制度」がスタートし、4月からは「事故救済制度」もスタートします。その他にもGPSの貸与など認知症の人にやさしい施策

が展開されていきます。また、深刻な人材不足に悩まされている介護人材確保に向けた住宅手当補助やキャリアアップ支援などが新設されます。この他、健康増進のために「健康ポイント制度」や「フレイル予防ポイント制度」も新たに運用されます。

認知症診断

65歳以上の神戸市民

無料

- インターネットでの申し込み(制度の詳細)
神戸市 認知症診断 検索 <https://kobe-ninchisho.jp/>
- 電話での申し込み
神戸市総合コールセンター TEL 078-333-3330
(年中無休 9:00～21:00)

新たな保育定員の確保・子育て環境の充実

待機児童の解消や多様な保育ニーズに対応するため、様々なタイプの保育施設が新設されます。マイカーで送っていきそのまま駐車して電車で通勤できるパーク&ライド型保育所や、交通利便性の高い駅にステーションを整備して、専用車両で保育所へ子どもを送迎



する保育送迎ステーションなど、新たな施設が整備されます。その他にも、大規模遊具の設置された子どもの遊び場拠点、区役所内に子育て支援拠点、岡場駅前に「こべっこあそびひろば」の整備など、子育て環境の充実が図られます。



山口由美

情熱市政

NEWS



プロフィール

- 1980 岐阜県岐阜市に生まれる
- 1994 事故により車椅子生活となる
以後、講演活動・車椅子陸上を始める
- 2001 トレーニング環境を求めて神戸市に単身転居
- 2002 愛知学院大学文学部心理学科卒業
車椅子陸上において日本代表入りを果たす
フェスピック・ブサン大会にて金メダル獲得
- 2004 パラリンピック・アテネ大会出場

- 2006 ワールドカップ(英)にて銀メダル獲得
現役引退
- 2007 神戸市議員選挙にて初当選
- 2011 神戸市議員 2期目当選
- 2015 神戸市議員 3期目当選
- 2016 福祉環境委員長、政調会長を拝命(1年間)
- 2017 未来都市創造に関する特別委員会 委員長を拝命



31年度予算を審議しました。



予算特別委員会第3分科会
みなと総局審査にて質疑



消防局審査にて質疑

詳しくは中面をご覧ください

ご挨拶

お世話になっております。山口由美です。

インフルエンザが猛威をふるった冬を越え、ようやく春を感じる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は任期最後となる予算議会に、これまでの4年間を振り返りながら望みました。改めて西区の魅力に気づかされるとともに、この4年間の西区の変化を再認識しました。これからももっと西区や神戸市のために仕事がしたいという気持ちと、道半ばの課題に責任を持って取り組みたいという気持ちを強く感じた日々でもありました。

今回は委員会での質疑でふれた西区のニュータウンの課題を中心にご報告しますが、西区はニュータウンだけではなく、農村の活性化も重要な課題です。農家に生まれ、農業を手伝いながら成長した経験を生かして、農業振興や農業と福祉をつなげる施策にも力を注いでいきます。

今後ともご指導のほど、よろしくお願いいたします。



ご意見・ご感想は…

TEL 078-322-5846 FAX 078-322-6164 E-mail.yamaguchi@yumiguma.com

HPもご覧ください

<http://www.yumiguma.com/>



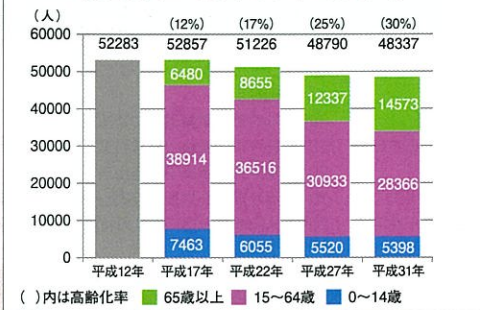
七転び八起き日記 ブログ更新中!

情熱市政 TOPICS ①

山口由美の市政への提案

A 西神中央駅周辺のこれから

【西神住宅団地人口推移】



6 中古物件の流通促進 (2019年度~)
● 官民連携の協議会設置



2 文化・芸術ホール (2021年度中完成予定)
※ 図書館・マンションと一体的に整備され、民間事業者による建設・運営の予定です。

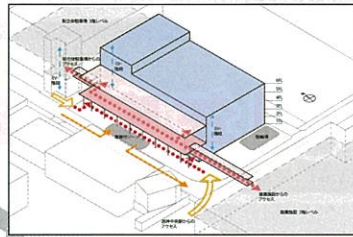


西図書館も入ります!

5 歩行者動線の検討 (2019年度~)
● 横断歩道橋の架け替え
● エレベーター設置
● キャンピアー設置等

2019年度から動線計画の策定に向けて検討を開始

1 区役所移転 (2021年秋頃)



3 プレんティ広場の利活用検討 (2019年度~)



芝生化?
雨よけテント?

4 乳幼児一時預り施設の社会実験 (2019年度~)
※ プレんティや業務ビルのスペースを活用した時間制預かりを検討中



高齢化対策の観点からも
1 若者の呼び込み・定着
2 バリアフリーやユニバーサルデザインにもっと力を注いでほしいです。

山口

神戸のまちづくりのモデルとなるような取り組みを進めていきたい。

みなと総局長

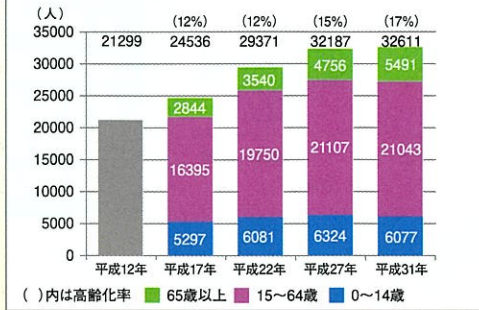
地元とよく相談し、バリアフリー推進会議の意見も聞きながら、進めていきたい。

計画担当部長



B 西神南エリアの現状と課題

【西神住宅第2団地人口推移】



現状

- まちびらきから26年
- 人口増加中
- 高齢化率は3つのニュータウンで一番低い
- ハイテクパークでの外国人労働者の増加

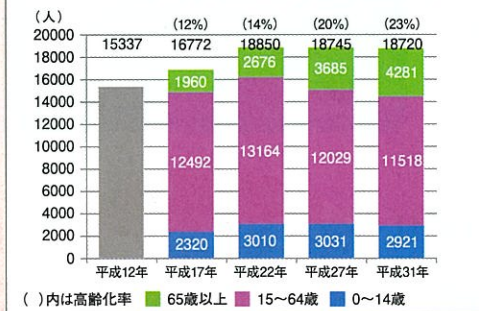


課題

- 駅周辺の活性化
- 駅から医療機関等へのアクセス改善
- 公園の利活用(駐車場の設置など)
- 待機児童対策など子育てしやすい街への改善(2020年4月に保育施設新設予定)
- 消防力の強化(2021年度に西神南出張所(仮称)新設予定)等

C 学園都市エリアの現状と課題

【神戸研究学園都市人口推移】



現状

- まちびらきから34年
- 人口のピークは越えている
- 外国人留学生の増加
- 本当に住みやすい街大賞2018 in 関西の第4位



課題

- 駅周辺の活性化
- 医療機関・買い物等へのアクセス(コミュニティバスの検討開始)
- キャンパススクエア東館のバリアフリー化
- 住民と学生の交流(UNITYのあり方等)
- 周辺道路の渋滞・路上駐車対策(小束山交差点(垂水区)2019年度も新たに改善予定)等

西区のニュータウンは、まちびらきから一定の年数がたち、まちの点検が必要な時期となりました。西神中央のみならず、西神南や学園都市も今後の姿について、住民の皆さんと一緒に考えていきたいです。

山口

うえはたのりひろ

自民党・神戸市会議員



経歴：昭和62（1987）年生。31歳。甲南中学校・甲南高等学校卒業（甲南高等学校同窓会幹事・神戸甲南会会員）、慶應義塾大学総合政策学部卒業（151三田会代表幹事）。日本マクドナルド（株）本社人事本部入社、鎌倉市議会議員25歳全国最年少当選。神戸市議会議員29歳最年少当選、経済港湾委員会副委員長、都市防災委員会委員等。神戸市中央卸売市場業務運営協議会委員、生活協同組合コープこうべ総代。
資格：全身性障がい者ガイドヘルパー、知的障がい者ガイドヘルパー。

神戸市の産業活性化の為、 国防産業の輸出緩和を外務省に要請！

ご存知の通り、神戸市には川崎重工業や三菱重工、神戸製鋼所、新明和工業など、日本が世界に誇る国防産業企業が存在し、産業の活性化は、神戸経済にとっても重要です。しかしながら、国防産業の課題は、規制の関係から需要の大半は日本の自衛隊のみであり、米国や欧州の国防産業に比較し、需要が小さく、技術の維持はもちろん、技術の更なる進歩を目指すならば、更なる需要の拡大、つまり海外輸出が必要です。もちろん、どこに売っても良いというわけではありません。北朝鮮や韓国のように、日本の主権を侵害する国は当然、除外しなくてはなりません。法治国家であり、自由と民主主義という人類普遍の価値観が共有出来る国家であることが大前提です。そこで日本の周辺諸国で唯一の親日国家である台湾が、その相手国として最適であると判断しました。そこで昨年7月、友人である台湾国防部の全軍のトップを務める中華民國（台湾）李喜明参謀総長とアポイントメントをとり、直接、神戸市の企業の製品を採用するよう要望し、台湾としても前向きな姿勢を頂くとともに、日本政府側の規制緩和が求められました。



▲李喜明 軍参謀総長に要望



▲佐藤正久外務副大臣に要請

帰国後、直ちに外務副大臣と面談し、国防産業の活性化を求める要望書を提出し、具体的に台湾を相手国として提案しました。佐藤副大臣は産業の規制緩和の必要性に同意をし、今後の協力を約束しました。更に10月には、台湾の外交部の招待を受け、訪台し、これにあわせて再度、李喜明参謀総長、国防部幹部とのランチミーティングを実施。その後、李参謀総長から国防大臣をご紹介も受けました。米国・台湾間の商談が進む中、日本にとっても絶好のチャンスです。現在、日本政府は、国防産業の規制緩和を行っております。私は神戸市議会議員として、国防産業の活性化は、神戸市民にとっても大きな恩恵があることを確信し、台湾は勿論、米国、オーストラリア、インド、シンガポールなども視野に今後も取り組んで参ります。



▲李喜明 軍参謀総長に報告



▲左からうえはた、李参謀総長、敵 国防大臣

神戸市の

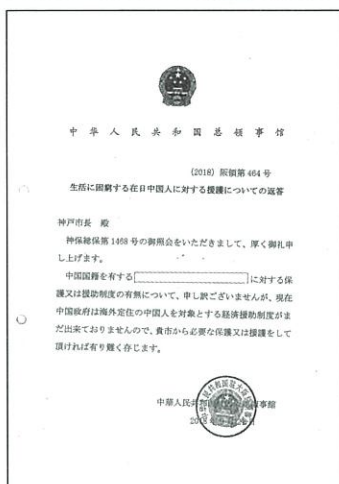
外国人生活保護費

総額59億円の廃止を求めます！

うへはたのりひろは、外国人生活保護の廃止を求めています。これは、本来、生活保護法の保護対象は、日本国民のみに限られています。しかしながら、厚生省が戦後に発出した昭和28年の通知を根拠に全国で莫大な税金が投じられています。神戸市では、外国人の生活保護について年間59億円もの血税が投じられています。この実態を受け、うへはたは、本来、外国人が困窮した場合には、その者の母国の大使館や総領事館が保護すべきであると考え、神戸市にきちんと母国大使館に連絡をするように要請していました。

中国政府による中国人の生活保護を神戸市に押しつけた事実が明らかに！

そして、昨年、中国人が生活保護の申請に来た為、神戸市は、近畿圏を所管する中国総領事館に連絡をしたところ、中国政府には、自国民を保護する制度はないから、神戸市で保護を求める旨の文書が一枚かえてきたのです。中国ほどの大国が普段は、日本に対してあらゆる圧力をかけている中、中国人の保護について中国政府自身が放棄し、日本の自治体である神戸市に丸投げなんて、断じて許容できることではありません。すべては日本国民である神戸市民の皆様の血税なのです。



▲中国総領事館が中国人の保護を拒否した文書



▲一般質問で外国人生活保護廃止を求める



▲久元市長に対して予算要望を申し入れる

私が主張し、平成31年予算の自由民主党神戸市会議員団の要望に「外国人生活保護の廃止を視野に通知の見直しを求めるよう国に働きかけること」が組み込まれました。これは必要な区別であり、優先順位の問題です。外国人を保護する責任は、その者の母国政府・大使館であり、私達の神戸市が優先すべきことは、日本国民である神戸市民の子育て支援や介護福祉、医療であります。公の場で質問を行い、外国人生活保護の見直し・廃止を主張している議員は神戸市会議員では私うへはたのりひろが唯一です。引き続き、他の政令指定都市や自治体とも連携して、取り組んで参りますので神戸市民の皆様のご賛同をお願いします。

市民の皆様からのご相談、ご意見お待ちしております。

子育て教育、進学、地域の課題、企業支援、神戸市会議員としてご相談承ります。

LINEでもお気軽にご連絡を！



TEL 050-3632-3492

FAX 078-330-0239

E-mail uehata.kobe@gmail.com

「元氣・神戸」「元氣・長田」へ 恐れず、先送りなし

【発行】 自由民主党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町6丁目5-1 神戸市役所1号館28階

http://55machiko.jp 平井まち子 検索

適正な予算執行を前提に 31年度予算を承認しました

【市会レポート 平成31年 第1回定例会市会(2月市会)】

今任期中の最後の市会となる平成31年2月定例会市会が2月12日から3月20日の期間開かれ、平成31年度当初予算及び関連議案を中心に審議を行いました。人口減少を克服するための子育て・教育環境の充実に重点を置きつつ、神戸経済の活性化のための雇用の創出や、福祉・医療・防災などの充実、都心再整備などまちの魅力や環境への取り組みを評価し、また引き続き行財政改革に取り組み安定的な財政基盤の構築を期待し、予算案を可決しました。

議事録、録画は神戸市会ホームページ ▶ <http://www.city.kobe.lg.jp/sikai/>

予算総額 **1兆7,999億円** 前年比プラス433億円

一般会計 8,116億円 企業会計 3,081億円 特別会計 6,802億円
プライマリーバランスの黒字 212億円 市民一人当たり市債残高 約71万円

神戸経済を伸ばす

- ◆ 《新規》シリコンバレー拠点の設置
- ◆ 神戸医療産業都市の推進
- ◆ 六甲山牧場で但馬牛の肥育
- ◆ 六甲山・摩耶山の開発規制緩和



健康・安全を守る

- ◆ 阪神淡路大震災25年事業
- ◆ 認知症の人に優しいまちづくり
専門相談窓口の設置、診断助成制度、事故救済制度
- ◆ 介護人材の確保
新規採用職員の住居手当補助



陸・海・空の拠点を創る

- ◆ 三宮やウォーターフロントの再開発
新バスターミナルの整備、文化ホールの移転、新中央区総合庁舎の整備など

新バスターミナルビルのイメージ



街と地域を創る

- ◆ 駅舎の美装化(西神中央、名谷、三宮)・駅前の魅力向上
- ◆ 新長田合同庁舎の整備
- ◆ 駅前の再整備検討(新長田、西鈴蘭台)
- ◆ 老朽空家等解体補助の創設
- ◆ 市立博物館の魅力向上

主な 新規・拡充 施策

子供たちの未来をつくる

- ◆ 保育定員の確保
保護者が送迎に使った車を駐車したまま電車で通勤できるパーク&ライド型保育所、専用車両で保育所へ子供を送迎するステーションの設置
- ◆ 区役所に地域子育て支援拠点の整備
- ◆ 学校のICT環境整備
2021年度までの3か年で全校の普通教室に電子黒板・無線LAN等を整備



可決された議員提案条例

神戸市こどもを虐待から守る条例

自民・公明・市民連合の3会派から提案 施行:2019年4月1日

主な内容

- 虐待の疑いがある場合、保護者の2親等以内の近親者(祖父母)も子どもの安全確保に努める
- 市長は重大事案を市会に報告
- 警察や裁判所への対応を円滑にし、法的な知見を得られるよう児童相談所(こども家庭センター)に弁護士を配置



おいしい神戸産農水産物等の活用の推進に関する条例

自民・公明・市民連合の3会派から提案 施行:2019年4月1日

主な内容

- 地産地消を含め、おいしい神戸産農水産物等の活用を推進する
- 生産・供給及び市内流通の促進、生産環境及び生産基盤の整備等、神戸産農水産物等の優先利用、ブランド化の推進、6次産業化の支援等



神戸市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

自民・維新の2会派から提案 施行:2020年4月1日

神戸市職員労働組合のチェック・オフ(組合費を給与から天引きすること)を廃止する諸般の準備や調整の必要を考慮し、施行日を1年延期する修正のうえ、可決

会派を代表し予算審議の 総括質疑を行いました

平成31年度予算案は本会議での質疑後に予算特別委員会に付託され、3分科会に分かれて局別に審査が行われました。平井は締めくくりの総括質疑で市長らに8項目について質問しました。

下記以外にも「風通しの良い市役所組織づくり・教職員の働き方改革」について質問しました。



震災25年に向けた取り組み

問 震災から25年の節目の年を迎え、計画されている関連事業の中で、震災当時に支援をいただいた自治体や団体の名前を何らかの形で一斉に紹介し、感謝を表してはどうか。支えてもらった感謝をあらためて思い起こし、助け合いの精神を喚起することにもなると思うがどうか。

答 (寺崎副市長) 本年の神戸マラソンでは、大会テーマを「感謝と友情」とし、被災地の自治体との交流も予定している。その他「1-1」のつどい、神戸ルミナリエなどを通じて、発信や職員への派遣による被災地支援などで、これまでの感謝についても発信したい。指摘の掲示についても検討したいが、個人を含めた全国からの支援をどうリスト化するか問題もあり、どのように感謝を表現するか考えていきたい。

児童虐待条例の実効性

問 千葉県野田市の虐待事案では、重大な暴力があり、児童本人が学校に伝えたと関わらず、学校も児童も警察がすぐ介入するような援助要請をしなかった。先般議員提案で成立した「神戸市子ども虐待から守る条例」では、警察や学校現場をはじめとした関係機関との適切な情報の共有が規定されている。また、市の責務として犯罪性の有無の検討も規定しているが、どのように実効性を確保するのか。

答 (市長) 野田市の事案を踏まえ、警察との情報共有の範囲を広げて強化する。学校に所属の場合、出欠状況や、児童及び保護者の言動など現場から情報収集を行い、在宅支援中の家庭では見守りを依頼するなどの方策を通じ、情報共有を進めていく。

ショートステイ里親制度

問 福岡市で行われているショートステイ里親制度では、児童相談所の判断によらず、保護者が利用申請すれば、誰でも原則7日間の上限で利用できる。ハードルの低い預かり先の存在が、虐待の未然防止につながるのであれば導入してはどうか。

答 (寺崎副市長) 本市では他都市に比べ児童養護施設が多く、比較的手厚い体制が

整っている。福岡市の事業は、施設の無い区で利用希望に対応する目的がある。家庭的環境での丁寧な受入というメリットがあるが、安全確保できる仕組みが必要で、他都市の事例も踏まえ研究していきたい。

幼保無償化の影響

問 幼保無償化の実施に伴い、保護者や現場の混乱が懸念され、制度について市民への広報が必要だ。また、これまで保育料に含まれていた給食費を徴収する必要が生じるが、各施設が違った内容で通知することによる混乱も懸念される。市から文書での発信をしてほしいがどうか。

答 (寺崎副市長) 今後国から制度の詳細が示されれば、まず利用中の施設を通じて利用者に周知、広報を考えるとともに、市ホームページや広報誌等を通じても手続や給食費の取り扱いの周知に努めていく。共通の文書で通知すべきという指摘については、関係者と十分協議をしたい。

中学校給食の喫食時間

問 中学校給食の魅力向上の努力がなされているが、喫食時間や雰囲気や食育にふさわしいか。昼食は20分の間に配膳や片付けがあり、実質の喫食時間は10分、15分程度で、食べきれず残す生徒もいる。また授業中の席のまま静かに食べるよう指導されている。適切な喫食時間の確保や楽しく味わう雰囲気づくりに配慮されているか。

答 (教育長) 本市では大半の学校が20分の喫食時間で、小学校より短く、特に中1では、保護者から長くするよう意見がある。学校によって25分間に変更したり、1年生の1学期のみ延長したり、担任がクラスごとに延長の対応をする等工夫している。少しでも長く喫食時間を確保するよう求めていきたい。もう1点、食べ方への指摘だが、重度の食物アレルギーの生徒への対応で、食材に触れないために静かに前を向いて食べるよう指導する事例がある。ただ、せっかくの給食の時間が楽しい時間となるよう各学校に促していきたい。



新長田合同庁舎による賑わいづくり

問 この6月に新長田に県市合同庁舎が完成し、順次各機関が移転する。1050人の職員が働き、年間30万人の来庁者が見込まれ、周辺が賑わうことが期待される。市長は「新庁舎の職員には新長田の応援団になってもらい、昼食を商店街で食べ、退庁後も街をそぞろ歩いてもらいたい」との発言をしてこられた。実際に働きかけを行うなど、活性化の方策として実現されるのか。

答 (市長) 市の職員には、単にここで仕事をすただけではなく、極力新長田の周辺で時間を過ごしてもらおうと要請したいし、リップサービスではなく、成果が挙がるよう私も新長田を訪れたい。また地下通路のリニューアル等も行っており、駅前再整備も進める。さらに県の総合衛生学院の新長田の再開発地区への移転も実現すれば、若い世代の女性を中心に約250名が移動してこられ、また新たな交流も増えていくのではないかと、あらゆる方策を講じて、周辺エリアの活性化に取り組みたい。

新長田駅前広場の再整備

問 新長田の活性化策として、新長田駅前の再整備検討も予算計上された。駅前の広場のバスロータリー化を発表されたが、バス路線の不便さが解消されるのであれば歓迎する。どのような意図をもってロータリー化を図ろうとしているのか。

答 (岡口副市長) これまで地域からも、憩い空間の機能を確保した上で、駅前のバス拠点の整備の要望を頂いている。拠点の整備と合わせて、例えば長田区北部地域からの新長田駅前方面への路線を西行ききのバス停から乗車したいなどの要望がある。そこでバスの拠点の整備を含む駅前広場の再整備を検討するとともに、新長田周辺の市バス路線について、乗り継ぎの利便性も考慮しながら再編を検討し、交通利便性や拠点性を向上させ、まちの活性化を図りたい。



平井まち子 4年間の主な実績

- 新長田に県市合同庁舎建設、行政機能移転
- 新長田再開発エリアのハード改善
- 再開発ビルの管理に一部競争性を導入
- DV被害者の民間シェルター支援の拡充
- 写真掲載サイト「Feel Photo」の刷新



検討から参画し条例を作りました

- 神戸市みんなの手話言語条例
- 神戸市子どもを虐待から守る条例

策定に参画しました

神戸市空家等対策計画(特定空家への対応や活用等)

自民党が先頭に立ち取り組みました

- ヤミ専従問題など、歪んだ労使関係の実態解明
- 組合費の給与天引きを廃止する、条例改正

平井まち子 自由民主党 神戸市会議員



□1976年神戸市長田区生まれ
□池田小、西代中、長田高校、神戸大学(文学部史学科)卒業 □神戸電子専門学校を修了、市内の広告代理店に勤務、タウン誌の制作などに携る。□2005年10月の神戸市会補欠選挙にて10,436票をいただき初当選。□2011年、2015年再選。現在3期。
□2016年、双子の母となりました。

役職

- 自由民主党神戸市会議員団 副幹事長
- 未来都市創造に関する特別委員会 委員長
- 真珠神戸市会議員懇談会 事務局長
- INAC神戸を応援する神戸市会議員の会 会長

地域活動

- 自民党兵庫県連女性局 次長
- 長田神社氏子会 参与
- 神戸金型工業会 相談役
- 日本ケミカルシューズ工業組合 相談役
- 神戸市視覚障害者福祉協会 顧問

ご相談お問い合わせ

■自由民主党神戸市会議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 市役所1号館28階
電話 078-322-5846 Fax.078-322-6164

■長田区支部 平井まち子事務所
〒653-0843 神戸市長田区御屋敷通6-1-11
電話&Fax. 078-643-0647(月～金 9時～17時)
eメール machiko.h@earth.ocn.ne.jp

神戸市総合コールセンター 神戸市の総合的な窓口です。ご利用下さい。

年中無休受付中 (8:00~21:00) ☎078-333-3330

ごとう
五島だいすけ通信
神戸市会議員
2019年
交通問題号
http://www.goto-daisuke.net mail@goto-daisuke.net



私たちの北区は、自然が近く、公園も多く、空気もきれいで子育てなど住む面においては最高の環境です。私も皆さんが愛するこの北区を愛しています。区外の職場へのアクセスが良ければ、北区は間違いなくもっと良くなる。当初からこの思いで議会での活動に取り組ませて頂いております。

昨年暮れに、北神急行電鉄株式会社を神戸市営地下鉄が買収する事について、神戸市と阪急電鉄が協議に入るという発表がありました。久元市長からも料金の高さを何とかしなければならぬという話があり、長年北区の電車代の高さを訴え続けた我々市民の思いがやっとの事で少し通じたように感じられるところでした。

私も市議としてこの問題を主題の一つとして取り組んで参りましたので、今回市政報告では北区の交通コスト改善に的を絞り、皆様にお知らせしたいと思います。

●神戸市各区の2015年⇒2019年における人口推移

2015年は国勢調査による修正推計人口、2019年は推計人口。神戸市資料による

区名	東灘	灘区	中央	兵庫	北区	長田	須磨	垂水	西区
2015年2月	213,203	136,135	133,362	106,704	221,405	98,455	163,359	219,361	246,622
2019年2月	214,063	136,795	141,239	107,142	213,430	95,431	158,836	217,099	241,580
増減数	860	660	7,877	438	△ 7,975	△ 3,024	△ 4,523	△ 2,262	△ 5,042

我々の北区が実数として最も減少しているのが分かります。この原因が全て交通コストの高さにあるとは言えませんが、大きな要因であることは間違いありません。

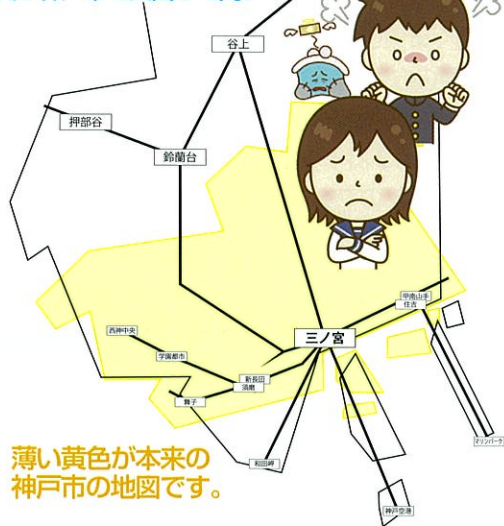


交通費が高いと流出する家庭も……



●神戸市内での交通コストの格差とはどのようなものか

交通費を距離として表した神戸市地図です。南北に異常に広がっており、北区がこんなに遠い。つまり交通費が神戸市で突出して高い!



薄い黄色が本来の神戸市の地図です。

以前から本会議や委員会において、またみなさまへの市政報告でも何度も使っている自作の図ですが、鉄道運賃を地図上の距離と捉えて書いた地図がこちら。(2017年2月本会議で使用)

元々の地図と比較すると、南北に異常に広がっているのが視覚的に理解いただけるとは思います。まさにこの地図のいびつさが神戸市内での交通コスト格差なのです。

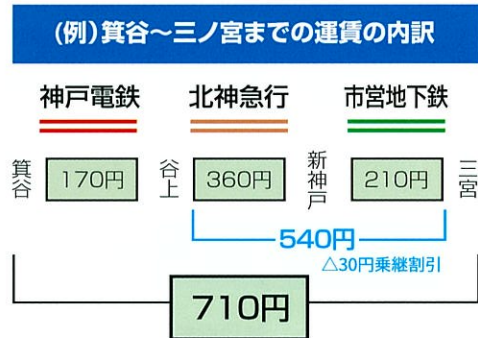
この交通コストの格差こそが、我々北区市民が日々「なんとかならないか?」と心のどこかで思いを巡らせている問題であり、人口減少の引き金の一つなのです。

線に乗り換えて三宮に到着しているような感覚ですが、実際は右記の図のように、神戸電鉄・神戸高速鉄道・神戸市営地下鉄と3つの線路の上を走っていくこととなります。

このため、3回の初乗り運賃を支払う必要があり、運賃が高くなっているのです。

そして実は、北神急行の運賃部分は高いと思っている運賃の一部(谷上~三宮540円のうち360円部分)であることも分かります。

また、これは昭和63年に開業したこの路線の建設費が710億円と高額であった事と、思うように乗客が伸びなかった事によります。



●適正な運賃はいくらなのか?

一部報道にもありましたが、谷上から三宮までは約8.8キロメートルであるため、市営地下鉄線の営業距離当たり料金と同様に考えるのであれば、270円となります。現状が540円であるため、市営地下鉄内での格差をなくそうとすると半額となります。

●やっとのことで高校生だけは通学定期券補助が出来た

右上の地図を使って2015年から校区再編で移動距離が伸びた高校生の運賃格差だけでも解消してほしいと質疑要望を繰り返した事で、定期券割引後の移動コストが最も高かった北神急行に、高校生の通学定期券割引が昨年9月より予算化されており、利用者は約2千名となっています。

交通コスト格差が解消されれば根本解決を見る事ができますが、今後も高校生定期券割引については全市展開を継続して要望していく方針です。

ウラ面に続きます!

●なぜ北神急行の運賃が高いのか?

そもそもなぜ北神急行の運賃は高いのか、おさらいをしてみる事にします。北区北神地域から三宮まで行く場合、電車に乗っていると、神戸電鉄線から北神急行

●北神急行や市営地下鉄の経営状況はどうなっているのか？

(単位:百万円)

平成29年4月1日～平成30年3月31日	北神急行	市営地下鉄西神山手線	海岸線	単純合算
営業収益	2,158	18,613	2,434	23,205
営業費用	1,884	13,175	7,093	22,152
営業損益	273	5,438	-4,659	1,052
経常損益	200	5,966	-4,284	1,882
一日当たり乗客(人)	24,885	263,555	51,056	339,496

※営業収益とは定期+定期外などの運賃収入 営業費用とは人件費・設備償却費・その他営業のための経費 営業損益はその差し引きで、経常損益とは営業損益から営業上の補助金収入や支払利息などを差し引いたもの。

北神急行については、この数字以外にも阪急グループの財布で阪急グループから職員の派遣を受けていたりするため、目に見えない負担を阪急グループが負っているところがあります。そして、市営地下鉄については、**海岸線の大赤字を西神山手線が負担している**と言いますか、**西神山手線の黒字を海岸線が帳消しにしている**事が分かっていただけたと思います。この海岸線がなければ、驚くべき優良企業になるのですが…それはさて置き、適正運賃と書いた270円を達成するためには、(かなり乱暴な計算になりますが)前述の乗り継ぎ図で北神急行部分を60円で運行する訳で北神急行の営業収入を60/360にする必要があり、つまり営業収入を18億円減少させる事になります。偶然にも単純合算欄に残っている経常損益が18億円ありますが、これはあくまでタラシバの話です。

●どうすれば運賃の低減ができるのか？

市長会見などから経営の効率化などによる値下げと聞きますが限界があります。上で記載した、北神急行の経営状況からすると、いくら経営を効率化したところで、その実質赤字部分を解消した上で、運賃の低減をすることはかなり無理があると言えるでしょう。

ではどうすれば我々の移動コストを低減できるのか？

それは、市税を投入するか、上記の単純合算のように**一体運営によりコストを市営地下鉄という大きなものに吸収させるか**等であると考えられます。

市税を投入する方法としては**移動コストの格差をなくすことが神戸市全体の発展につながるものと捉え、税金(一般財源)を投入する大義がある**という考え方です。

一体運営による考え方は、いまの地下鉄海岸線がヒントです。現状地下鉄海岸線は年間40億円超の経常赤字であり、地下鉄山手線の年間経常黒字60億円で見ているのが実情です。その大きな数字を見るに、適正運賃に下げのための必要な金額(18億円と試算)は見えない経費を除けば捻出できるであろうし、そうする必要があります。

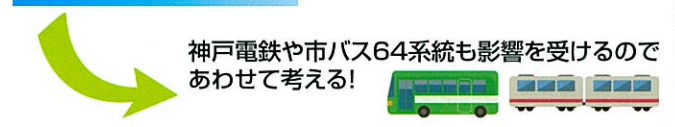
●市営地下鉄本体の利息負担も軽減する事を考える必要がある

また、現在市営地下鉄が支払っている利息負担は約30億円これは営業収益の約13パーセント程度ですが、利率としては2%弱となっており現在の低金利社会においてはかなり割高な利息を支払っています。これは、企業債が簡単に繰り上げ返済できない事も理由なのですが、例えば市営地下鉄を民営化し、企業債を民間で借り換えを行うなどの大手術を行うことが出来れば、年間10億円は利息負担を減らすことができるのではないかと考えられます。これは、北神急行の売り上げに対する比率でいうと約半分であり、完全に仮定の話ですが、**北神急行の運賃を180円押し下げることができる数字**です。

●神戸電鉄や神戸市バス64系統の経営の事も考える必要あり

現行: 北神急行540円(谷上～三宮)

もし270円にできたら……



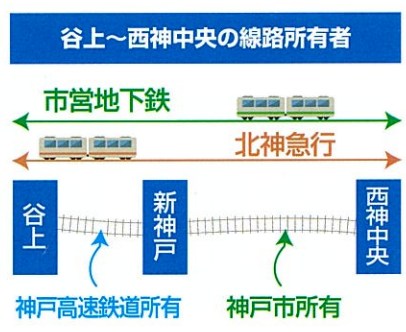
北神急行の値下げが成った場合に、当然考えなければならないのが、北区のメインの足である神戸電鉄の事です。仮に北神急行が上記のような値段設定になった場合(なって欲しいのですが)これまで神戸電鉄経由で三宮方面や西区方面に行っていた人や、64系統で三宮へ出ていた人が、ルートを変更して北神急行へ流れる事も考えられます。神戸市バス64系統の場合は、毎年計上黒字8千万円程度を確保しているため、多少乗客が減少しても問題はないのですが、神戸電鉄の場合はそうはいかないのです。

神戸電鉄のお客さんが減る⇒売り上げ減少⇒採算確保のため神戸電鉄値上げ。などというケースも考えられますので、こうならないためにも、今このときに例えば栗生線の上下分離などを断行し、神戸電鉄の負担を減少させる事で、北区全体の運賃低減を実現する必要があります。

また、64系統に関しては、現状直通で三宮まで出られる貴重な足となっており、値下げ幅は少なくとも、利便性のある足として残さねばなりません。最近、「**北神急行が市営化になれば、64系統は全て谷上に接続される**」などといううわさ話?をお聞きしますが、それは今64系統を利用している皆さんの利便性を考えるとありえない事です。

●神戸高速鉄道の持つ北神急行区間のトンネルも市営地下鉄が保有すべきである

「上下分離方式による北神急行線の運航維持」の方針に基づき、2002年4月より20年間は神戸高速鉄道株式会社が第3種鉄道事業として谷上～新神戸間のインフラを所有しており、20年間の期間終了後である2022年には、阪急電鉄が全てを引き継ぐ予定になっています。これまでは神戸高速鉄道に相当の仕事をしてもらった訳ですが、**今後北神急行が市営に一本化されるのであれば、線路も全て神戸市が所有したほうが、運行面やメンテナンスその他でメリットがあるし、鉄道使用料などの話もする必要がなくなる**のです。



資金面においても、借入れに対応するトンネルと鉄道という資産があり、現状の低金利であれば全体としての経常経費が増加する訳ではありません。

ランニングでも、鉄道使用料収入と借入金の返済がバランスするようにデザインされているため、収支不足を抱え込むという事にもなりません。

経営の自由度を確保するためにも、トンネル部分は市営地下鉄が所有するべきではないか?と考えています。

●地方において民間鉄道会社が公共交通を採算ベースで運営する時代は終わっている

公共交通、特に鉄軌道=鉄道に関しては利用者からの運賃収入による独立採算での運営がいまの日本では原理原則のようになっており、その「原則に反する今回の話は沿線住民にメリットはあれど時代に逆行する。」というような論調もあるのです。

ですがこの論調の基礎になる考え方は正しいのでしょうか？

確かに都心部など、利用者が多い地域を走る鉄道は、当然ながら運賃収入も多いので、その考え方でやってもらえばいいですが、そうでない**地方の鉄道は疲弊**しており、現実に神戸電鉄においても本数を減らしたり、車掌のいないワンマン運行の導入をしたりとかなりの対策を打った上で設備補助金やシーパソワンの市負担があって初めて少しの黒字を確保している状態です。政令指定都市である神戸ですらこの状況なので、さらに地方に行けばもっと厳しい状況が広がっています。神戸市は海側の東西交通は潤っていますが、**北区や西区は人口減少による利用者減少などにより厳しい経営状況で、日本の縮図ともいえる**のです。

世界に目を向けてみると、ヨーロッパなどでは**交通権(交通に関する市民の権利・移動する権利)**という概念があり、**鉄道は公設民営が常識**。日本でも、上下分離方式を導入している路線などありますが、これは本当に経営が限界まで来てしまった結果として導入したものばかりです。

対して、道路については税金で造られ、無料で走行することが出来るインフラで(自動車税やガソリン税などはありますが)、道路を走る路線バスなどは、道路の建設費は無視した経営を行う事ができるため、その点において鉄道よりも有利です。

鉄道のもつ**定時制・速達性・大量輸送などの機能は、日本の都市機能には必須**の性質であり、神戸市においてもマスタープランである公共交通網形成計画などで、鉄道が公共交通の軸であると決めています。また、家族が自家用車を運転してくれない限り、免許のない子どもやお年寄りなどの交通弱者には鉄道が主な移動手段である事は間違いありません。

鉄道を公共交通と呼び、必要なインフラと考えるのであれば、民間の採算ベースに任せた鉄道運営と運賃設定を継続していく事の方が、地方の現実に目を背けた考え方です。

また、北神急行しかり神戸電鉄しかり、「運賃が高い!」とばかり言われ続けながらも、頑張って経営努力を重ね、安全運航のために日々研鑽している素晴らしい従業員の皆様は苦しい日々を送られています。このような従業員の方々の事を見ても、民間鉄道任せの値下げ努力はもう限界にきていると言えます。官民一体での取り組みが今、必要なのです。

手遅れにならないうちに、距離当たりの移動コストに格差がないような、安価で利便性のある公共交通体系をデザインしなければならないのです。

今後も我々北区市民にとって最重要ともいえる交通コスト問題については、議会でしっかりと対応してまいります。

昭和52年7月4日、神戸市北区鈴蘭台西町に生まれ、育つ(五島虎雄元衆議院議員の孫)

PROFILE

- 聖ミカエル南五葉幼稚園
- 神戸市立北五葉小学校に入学
- 神戸市立星和台小学校を卒業
- 神戸市立星和台中学校卒業
- 兵庫県立兵庫高等学校卒業
- 兵庫県立神戸商科大学商経学部卒(現兵庫県立大学)
- 福祉環境委員会 委員
- 外郭団体に関する特別委員会 委員
- 五島公認会計士税理士事務所代表
- 兵機海運株式会社 社外取締役
- 一般社団法人 兵庫文化芸術スポーツ振興財団 理事
- 神戸北スポーツ推進協会 顧問
- HBCA(兵庫ベースボールコーチングアカデミー)顧問
- 一般社団法人 eスポーツ連合 兵庫支部支部長
- NPO 法人 ママキア応援パーク 監查理事
- 社会福祉法人 ゆりかご(こども園) 監查理事

新時代の地方公共交通の仕組みをデザイン!